

# 広島の被爆者 切明千枝子さんの被爆証言を聴く会

6月24日(月)午前10時～12時  
ひと・まち交流館京都 2階の和室A・B  
(河原町五条下る東側)  
資料代 500円



切明千枝子さんは、広島県立第二高等女学校4年生だった15歳の時、爆心地から南東およそ2キロの場所で被爆しました。しかし、偶然建物の影にいたため、やけどや大きな怪我は免れました。一方、広島市南部の宇品にあった学校には、ひどいやけどを負った下級生たちが戻ってきては次々と息を引き取っていきました。切明さんは、先生と一緒に校庭に遺体を並べ、火葬に付しました。それは、15歳の少女にとっては、あまりに辛い体験でした。

被爆から70年以上が経っても、小さな小学生や中学生を見るたびに、この子たちをあんな目に合わせてはならないと強く思います。それを原動力に89歳の今でも語り部活動を続けておられます。



切明千枝子さんは現在、「広島県原爆被害者団体協議会」の「被爆を語り継ぐ会」に所属して、各地で被爆証言の語り部を行われています。今回関西においでになるご予約にあわせて、京都でも被爆証言を聴かせていただく機会を持たせていただきました。



広島県立広島第二高等  
女学校殉国学徒の碑  
(広島市中区国泰寺町)

---

主催 京都「被爆2世・3世の会」  
連絡先 電話・FAX 075-811-3203 (京都原水協気付)